

登録番号	第 00135 号		
登録年月日	平成25年9月10日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	【世界初の除虫菊を含む蚊取線香】 (1) 棒状蚊取線香「金鳥香」 (2) 渦巻き蚊取線香「金鳥の渦巻」 (3) 渦巻き蚊取線香 試作木型 (4) 機械式 手巻き用線香押し出し機 (5) 蚊取線香戦前の海外向けポスター群 (6) 「除虫菊栽培書」「日本の除虫菊」 (7) 木製線香突き
所在地	大阪府大阪市 大日本除虫菊株式会社
所有者 (管理者)	大日本除虫菊株式会社
製作者(社)	(1) 上山英工場 (現・大日本除虫菊株式会社) (2) 大日本除虫粉株式会社 (現・大日本除虫菊株式会社) (3) 上山英一郎 (4) 大日本除虫菊株式会社 紀州工場 (5) 大日本除虫粉株式会社 (現・大日本除虫菊株式会社) (6) 上山英一郎 (7) 不明
製作年	(1) 明治44年(1911)～大正3年 (1914) (2) 大正8年(1919)～大正14年 (1925) (3) 明治28年 (1895) (4) 明治末期～昭和32年 (1957)頃まで使用 (5) 昭和5年 (1930)～昭和15年 (1940) (6) 明治29年 (1896) (7) 明治35年 (1902) 頃
初出年	(1) 明治44年(1911) (2) 大正8年(1919) (3) 明治28年 (1895) (4) 明治末期 (5) 昭和5年 (1930)～昭和15年 (1940) (6) 明治23年 (1890) (7) 明治35年 (1902) 頃
選定理由	世界初の蚊取線香を含む資料群である。蚊取り線香は世界中に輸出され、マラリア等蚊が媒介する疾病の予防に大きく貢献し、人々の健康を増進し、現在でも広く用いられている。大日本除虫菊株式会社創業者の上山英一郎は、除虫菊の栽培を広く奨励し普及に務め、一時は世界一の生産国となった。日本古来の仏壇線香の製造技術を活かして、世界初の蚊取線香を1890(明治23)年に発明した。 (1)は世界初の除虫菊を含む蚊取線香である。長さ20cmで約40分間燃焼、数本を同時に用いた。(2)は世界初の渦巻き型蚊取線香である。長時間燃焼と高さを低くした防炎性、太さによる十分な薬効、さらにダブルコイル方式による生産性の向上、搬送時の折れや輸送コストの低減が実現された。(3)は蚊取線香の試作用の木型、(4)の押出機で細長くしたものを渦巻状に加工した。(5)は、各国語の輸出用ポスター群である。(6)は、生産世界一に貢献した除虫菊栽培奨励の手引書である。(7)は、木製線香突き(押出機)。
登録基準	一一口、二ーイ

公開・非公開	(1) (2) (5) (6) (7)は公開, (3) (4)は非公開
--------	-------------------------------------

写真

大正8(1919)年頃の手巻き渦巻蚊取線香

蚊取線香手巻き風景

明治23年(1890)の蚊取り線香試作の木型

当時の様子

明治末期の蚊取り線香押し出し機

【英語】
【インドネシア語】
【中国語】
【ロシア語、中国語】
【インドネシア語】

戦前の蚊取線香の海外向けポスター群(昭和5年～15年頃)

「除虫菊栽培書」「日本の除虫菊」

木製線香押し出し機(線香突き)

その他参考となるべき事項	
--------------	--